

研修会受講報告	
令和4年7月27日	報告者 松本久仁子
講座名	令和4年度 学校安全総合支援事業 第1回 実践委員会
日時	日 時 令和4年7月27日(水) 10:00~12:00 場 所 長崎県立島原特別支援学校2階自立活動室
趣 旨	<p style="text-align: center;">学校安全総合支援事業について</p> <p>「第3次学校安全の推進に関する計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全計画・危機管理マニュアルを見直すサイクルの構築し安全性を高め、地域と密接に連携・協同し子供の視点も踏まえた安全対策の推進。 ・災害リスクを踏まえた実践的な防災教育・訓練の実施 ・市教育委員会や各県立学校を中心として、組織的取り組み・外部専門家の活用 学校間の連携を促進し県域等でその仕組みを普及することの支援し県全域での学校安全の取り組みの促進を目指す。
事業内容と方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 県教委において、モデル地区を設定し学校安全推進体制を県内に普及し全域で全域で推進体制を構築する ② モデル地域の市町教育委員会や県立学校はモデル地域の実践や共有・検証を行う ③ モデル地域では、拠点校を中心に学校間で連携し、地域全体での学校安全推進体制を構築する。 ④ モデル地域のすべての学校に学校安全の中核となる教員を置き各学校の取り組みの推進を牽引させる。 e ランニング教材の適宜活用 ⑤ 県教委はモデル地区の市町教育委員会及び県立学校に指導・助言・支援するとともに実践事例を踏まえ学校安全推進体制について県内他の地域にも普及する
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定、取り組みの評価・分析 県教育委員会は、委託事業終了後にも取り組みが継続的に実施できるよう事業計画を策定すること ・モデル地域の設定 県教育委員会は、県全域で推進体制を構築することを念頭に置きモデル地域を1地域以上設定すること ・推進委員会の設置 モデル地域の市町教育委員会及び県立学校への情報共有・指導・助言・支援県における「推進委員会」を設置 ・成果の共有と体制整備 県における各種事業や成果発表会、研修、視察を通じ県内他の地域にも普及しモデル地域以外の地域における知性整備を促進すること

事業の実施	文部科学省と県の委託契約の締結日から当該年度の2月末日まで
事業目標	<p>地域における自然災害のリスクと正しい知識を知り、災害によって自分自身に起こり得る危機に対して、主体的に考え、行動しようとする力を育成する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="color: red;">主体的に考え、行動しようとする力は、将来子供たちが地域社会の一員として生活するようになったとき、地域住民や関係機関と協力して様々な活動に参加したり自分のできるや役割で防災の担い手として貢献したりすることにつながる。</p>
一時避難訓練	<p>火災なし・地震のみの訓練を行った結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15分程度で非難ができた。 ・避難後 レスキュー車の見学・備蓄品の確認・避難所体験を行った） <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸引器の持ち出し人数の再確認（看護師だけで足りるのか） ・注入時の小物（経鼻・経管栄養に使用する小物）の確保があるのか。 ・避難経路の見直し（学校のそばに川が2か所あり増水時他の方法も考えておく） ・机の隠れることができない生徒は、頭上からブルーマットで覆う ・職員の安全確保は、一時避難の場所で生徒と数を合わせる ・携帯は通じなくなるので無線機のほうが良い <p>との関係者からの声も上がりました。</p>
備考	<p>第2回実践委員会 10月5日 時間 未定 後日報告とのこと</p> <p>第2回島原特別支援学校避難訓練実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和年10月26日 9:40~12:00 ・場所 島原市特別支援学校小中学部運動場 島原市役所まで避難

第1回学校安全総合支援事業の報告書です。

長崎県支部 松本久仁子